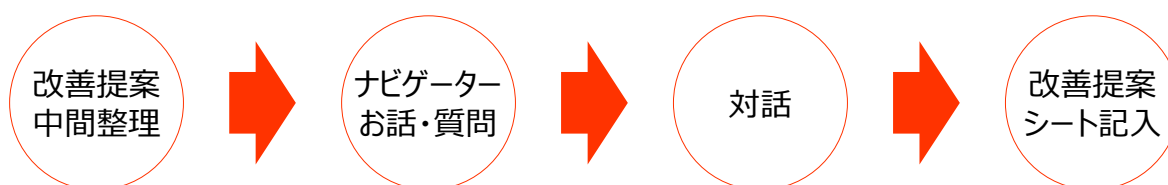


| 琴浦自分ごと化会議

公共交通（第3回）

| 本日の全体会は約3時間



前回会議の振り返り

公共交通と共助交通 → 改善提案の中間整理 → 本日のゴールは、改善提案シートの完成

ナビゲーターのお話と質問

ナビゲーターからお話を伺います。

対話

課題ごとに対話を重ねます。

まとめ

改善提案シートの記入。特に、自ら、地域、行政のそれぞれの視点での解決策を考える。

|改善提案シートの中間とりまとめ

2回の対話・課題提案シートから見てきた課題

|課題は？

①・②現在の公共交通をいかに維持するか？

- ① 町営バス・タクシー ○利用促進 ○コスト ○ドライバー不足
- ② スクールバス

③次代を支える移動手段をどう確保するか？ 大胆な政策転換が必要では？

- 共助交通 ○地域内の交通資源の有効活用

④移動販売、在宅医療などを成り立たせるには？

- 移動販売の可能性 ○在宅医療の可能性

⑤地域の助け合いをどう考えるか？

- 暮らしの支え合い ○つながり

その他 ○公共交通や移動手段の現状把握 ○自立という視点

改善提案①

|現在の公共交通をいかに維持するか？ ○利用促進

- **個人**
→できるだけ公共交通を使用する。バスをなるべく利用する。
- **地域**
→多くの人に乘ってもらうよう声掛けする。みんなに利用するよう勧める。バスを利用する。
- **行政**
→利便性の良い時間割を作る。
→バス利用の方が軽費的に安いというPRチラシ等を作成し、保護者へ配布する。
* 町営バスとスクールバスの一体活用。
- **その他**
→公共交通は維持すべき。非常に困難な事業。
* タクシーのあり方は？

改善提案①

|現在の公共交通をいかに維持するか？ ○コスト

- **個人**
→少し運賃が上がっても我慢する。
→住民意見を発する。
- **地域**
→多くの人に乘ってもらうよう声掛けする。
- **行政**
→バス、タクシー利用の促進や宣伝を行う
→競争入札（公募）して、業者選定する。（町内限定しなくてよい）
- **その他**
→情報開示すべき。
→新たな税負担、消費税の使途への言及。

改善提案①

|現在の公共交通をいかに維持するか？ ○ドライバー不足

- **個人**
- **地域**
 - 声掛けを行う
- **行政**
 - 運転者への報酬を増やす。
 - ドライバーの確保（免許取得への援助）による、雇用確保
- **その他**

改善提案②

|現在の公共交通をいかに維持するか？ ○スクールバス

- **個人**
 - 遠距離から通学する子どもの安全確保などの協議。
- **地域**
- **行政**
 - 財政的には負担であるが、安全に子どもが通学できる方法を考える。
 - 自転車通学の範囲拡大などの見直し。
 - * 町営バスとスクールバスの一体活用。
- **その他**

改善提案③

次代を支える移動手段をどう確保するか？ ○共助交通

- **個人**
 - 運転手や管理者、利用者として参加する。仕組みづくりや運転手確保に協力する。
- **地域**
 - 運転手募集に協力。
 - 地域のつながり。（声掛け、仕組み、組織、対話など地道な努力）
 - 適正な運賃設定（報酬等）。共助交通に対する支援。
- **行政**
 - 周知・助言・働きかけ。（推進のためのレクチャー、各地区への協力依頼、助言）
 - ボランティアのモチベーション維持の仕組みづくり、システムを構築。（ポイント制など）
 - 委託費又は補助金・助成金の支給。
- **その他**
 - 利用する側へのマナー研修。共助交通の導入拡大。

改善提案③

次代を支える移動手段をどう確保するか？ ○地域内交通資源の有効活用

- **個人**
- **地域**
- **行政**
 - 送迎を行う病院・医院へ補助を行う。
- **その他**

改善提案④

| 移動販売、在宅医療などを成り立たせるには？ ○移動販売 ○在宅医療

• 個人

- 健康管理を行い、通院回数を減らす。
- 病気になる体づくりを行う

• 地域

- 医療面として、往診や薬局での郵送受取システムなどを確保する。
- 移動販売、共同販売などを行う。

• 行政

• その他

改善提案⑤

| 地域の助け合いをどう考えるか？ ○暮らしの支え合い ○つながり

• 個人

- 時々訪問し、お困りごとを聞いたり手伝う。

• 地域

- 皆で見守る。
- 手伝えることは手助けする。
- 集落内で、高齢者に交通支援制度の再確認を行う。

• 行政

- 行政として訪問する。
- 看護師、保健師等が定期的に各部落を訪問。保健管理の補助やアドバイスを行う。
- 集落内のまとめ役の方に、支援制度を周知する

• その他

- 共助交通の広がりを含めて、人と人がつながるとよい

改善提案 その他

○公共交通や移動手段の現状把握 ○自立という視点

・ 個人

→会議に出るなど共助交通について考える。

・ 地域

→全家庭で5～10年後の公共交通の必要性（重要度）についてアンケートをとる。

→年代別の声を聞く。

→集落内で、交通に対する支援制度を周知する。

・ 行政

→町民個々にアンケートを取る。

→バス路線のマップを作成する。

→3kmの見直しもしくは3～5kmなどの範囲で講習を受け合格できた生徒に対しては、
自転車通学を許可する

次回の全体会へ向けて

次回の全体会に向けて

次回は……

これまでに話し合った課題に対し
自ら、地域、行政のそれぞれができること・やるべきことを

具体的行動につなげるための

「提案」

にまとめます。